恵み豊かで美しい涸沼の創造を目指して

クリーンアップ ひぬま ネットワークだより

Vol.22 2010.9

http://www.hinuma-network.jp

「ひぬま流域クリーン作戦」に290名が参加

平成22年7月24日(土)に、大好き いばらき 県民会議(幡谷浩史理事長)との共催により、「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。

早朝から気温25°Cを超える猛暑の中、クリーンアップひぬまネットワーク会員、大好き いばらき 県民会議ネットワーカー、大涸沼漁業協同組合員、宇野建設工業株式会社、県立茨城東高校、株式会社ニコン水戸製作所、社会福祉法人勇成会(ありすの杜、あさひの家、ユーカリの里)、ジャスコ笠間店、常陽ボランティア倶楽部(長岡支店、旭支店)、東京電力株式会社茨城支店、日本たばこ産業株式会社友部工場、ロックシティ水戸南ショッピングセンター、地元ボランティア団体などから、290名の方々にご参加いただきました。

クリーン作戦は、従来の親沢公園コース(往復約5km)、広浦公園コース(往復約3km)、自然公園周回コース(約2km)、網掛公園コース(いこいの村涸沼まで約2km)と、今回新たに追加した涸沼大橋方面コース(親沢公園から往復約2km)の5コースに分かれて実施し、可燃ごみ115袋、不燃ゴミ36袋(茨城町指定45L袋)を回収することができました。

大変暑い中、ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

○ご参加いただいた事業所・団体

- 大涸沼漁業協同組合
- 宇野建設工業株式会社
- 県立茨城東高校
- 株式会社ニコン水戸製作所
- 社会福祉法人勇成会（ありすの杜、あさひの家、ユーカリの里）
- ジャスコ笠間店
- 常陽ボランティア倶楽部（長岡支店、旭支店）
- 東京電力株式会社茨城支店
- 日本たばこ産業株式会社友部工場
- ロックシティ水戸南ショッピングセンター
- 地元ボランティア団体

（敬称略）

◆◆◆美しい涸沼の自然を次世代に引き継ぐため、ゴミの不法投棄は絶対に止めましょう！◆◆◆

クリーンアップひぬまネットワーク事務局 TEL 029(301)2968 FAX 029(301)2969

平成22年度 定期総会を開催

平成 22 年 5 月 18 日（火）いこいの村涸沼において、平成 22 年度クリーンアップひぬまネットワーク定期総会を開催しました。

総会では、平成 21 年度事業報告及び決算報告、平成 22 年度事業計画案及び予算案について審議が行われ、すべての議案が承認されました。

また、水質浄化啓発講演会では、「涸沼川での水質等調査結果について」の演題で、国土交通省常陸河川国道事務所調査第一課の萩元太一様、高橋光範様から、涸沼川の水質やシジミの生息などについて、大変興味深いお話をいただきました。

今年度は、下記の事業計画に基づき事業を実施してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

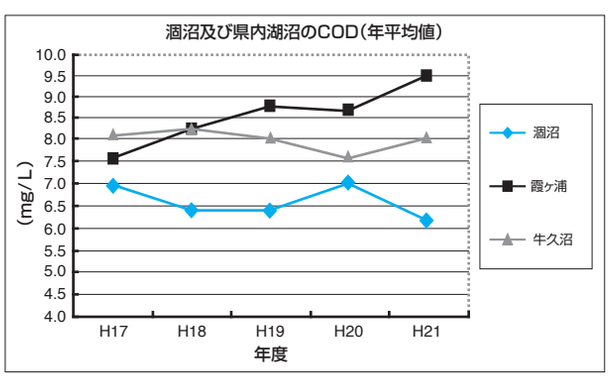
●平成 22 年度事業計画●

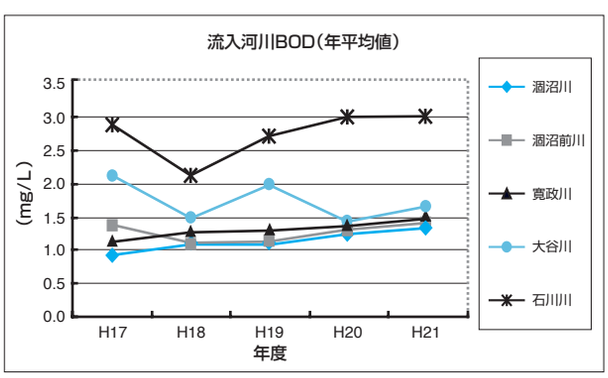
広報啓発事業	実践活動事業
①水質浄化ポスターの募集及び展示 ②ひぬまフォトコンテストの実施 ③広報誌の発行（年２回） ④ホームページの運営 ⑤ひぬま環境フォーラムの実施 **⑥水質浄化キャンペーン（親水事業及び食用廃油回収事業を含む）**	①ひぬま流域クリーン作戦の実施 ②ひぬま流域ウォッチングの実施 ③環境イベント等への参加 ④水質浄化活動功労者の表彰 **⑤一斉清掃事業** ⑥学校における環境学習推進のための支援

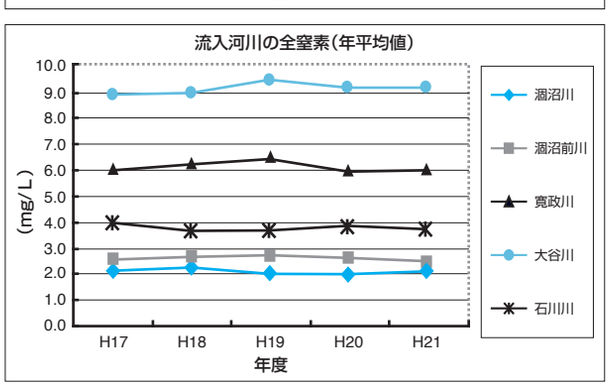
※**太字**は流域市町単位で実施する事業

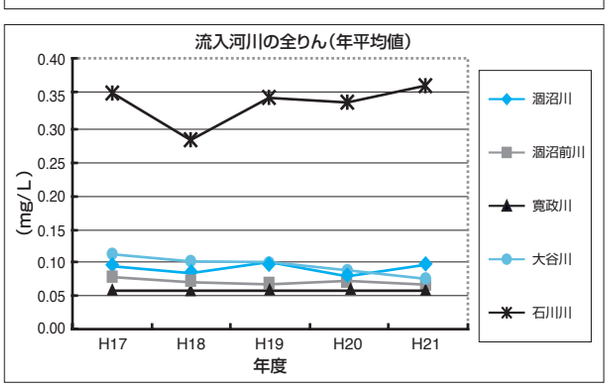
涸沼及び流入河川の水質状況

平成 21 年度の涸沼の水質については、COD（化学的酸素要求量）が 6.2mg/L と、若干改善した状況です。また、流入する主要 5 河川の水質については、石川川を除く 4 河川で BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準値（2.0mg/L）を達成している状況です。窒素は、大谷川の値が高い状況が続いており、りんは、石川川の値が高く推移している状況です。









Q1. 涸沼で発見されたトンボの名前は？　A1.「ヒヌマイトトンボ」といいます。

JT 友部工場の環境保全活動について　～ JT 友部工場 ～

JT 友部工場は、涸沼の北西 20km の所、JR 友部駅北口に隣接して 24 時間操業しているたばこ工場です。工場としては、2005 年 3 月から工場排水を公共下水道処理施設へ切り替えるほか、雨水の一部を涸沼流域へ排出しております。

涸沼流域の事業者として、クリーンアップひぬまネットワークの環境保全の理念に賛同し、できる限りの協力は企業としての責務であることから、毎年行われる涸沼流域クリーン作戦に継続して参加しております。

なお、JT グループでは、企業としての社会的責任を果たすために、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、「JT グループ環境憲章」の基本理念に基づき、「ひろえば街が好きになる運動」や地域とともに森を育てる「JT の森」などの社会貢献活動に取り組むとともに、JT グループ環境行動計画（温室効果ガス排出量、水使用量、廃棄物発生量の削減や、再資源化率の向上など）を策定し、事業活動を行うすべての地域において、社会と共生する「良き企業市民」であることを目指し取り組んでいます。

当工場においても、環境保全の取り組みとして次のような活動をしております。

①環境モニター制度を用いた自主調査・確認体制の充実
②国際規格 ISO14001 の認証取得
③グリーン調達の実施
④重油から液化天然ガス（LNG）にエネルギー転換
⑤太陽光 LED 街路灯の設置
⑥工場周辺クリーン活動、JR 友部駅周辺クリーン活動
⑦笠間市環境審議会への参加

ひとの
ときを、
想う。
JT

そのほか、工場内に「省エネルギー委員会」を設置し、工場全体で省エネルギーを推進するとともに、梱包材の再資源化の推進なども行っています。

JT グループは、社会からの期待に応えるため、地域社会への貢献、環境への取り組みおよび事業を通じてこれからも社会的責任を果たしてまいります。

一回のシャッターチャンス　～クリーンアップひぬまネットワーク会員 二宮 博美～

涸沼は、自宅から比較的近く、変化に富んだ地形と自然の豊かさで知られています。特に四季折々の風景は多くの人を魅了し親しまれています。よい撮影のポイントを見つけては何度となく足を運んで気付かされたことは、涸沼に流れ着いたゴミの多いことでした。

そして、きれいな涸沼であって欲しいと云う願いから、ボランティア活動を通して水質浄化の一助になれば、と活動に参加したのです。

昨年「ひぬまフォトコンテスト」に応募して、そのうちの一枚が思いがけない賞を戴きました。その写真は、涸沼川の河口付近に一羽の白サギが枯れ木に止まって羽を休めていたのです。ふと見ると親沢の方から一隻の舟が近づいてきたので、とっさに写真の構図を頭に描いて、最もふさわしい位置でシャッターを切ろうと心に決めたのです。白サギはとても警戒心の強い鳥です。祈る気持ちで舟を待ち、予期した所に来たところでシャッターを切りました。

第３回ひぬまフォトコンテスト最優秀作品
「影絵のように」

ただ一回のシャッターチャンスにうまく合ったのです。この日は、あたり一面に朝霧が立ち込めて、写真をプリントするとモノクロ写真のように白と黒を基調とする写真になりました。題名を「影絵のように」としたのもそのためだったのです。

涸沼は流域に暮らす人々の環境や水質浄化に対する意識が向上し、また関係行政機関の活動によってきれいになってきたことは大変喜ばしいことだと思います。これからも恵み豊かで美しい涸沼をレンズを通して見ていきたいと思います。

※フォトコンテスト作品は、当ネットワークホームページでご覧いただけます。

Q2. 涸沼にはどんな鳥がいるの？　A2. サギ、カルガモ、ガン、オジロワシなどがいます。

クリーンアップひぬまネットワーク事業のお知らせ

○第４回ひぬまフォトコンテスト

涸沼流域の自然、人々の暮らし、動植物などを題材とした写真作品を募集中です。

応募締切　平成 22 年 9 月 30 日（木）※当日消印有効

提 出 先　クリーンアップひぬまネットワーク事務局　※住所は下記参照

○ひぬま流域ウォッチング

日 に ち　平成 22 年 10 月 24 日（日）午前の部 , 午後の部　※時間未定

内　　容　小・中学生とその家族を対象とした、屋形船による涸沼湖上での体験学習（約 60 分）。

※ ご参加には事前の申し込みが必要です。申し込み方法は、事務局へのお問い合わせ、又はホームページ（http://www.hinuma-network.jp/）をご覧ください。

※ ご参加は、親子同伴でお願いいたします。

※ 定員（午前の部 , 午後の部 各30名）を超えた場合は抽選とさせていただきます。

集合場所　広浦公園キャンプ場の駐車場（茨城町下石崎）

○第 10 回ひぬま環境フォーラム

日 に ち　平成 22 年 11 月 26 日（金）

内　　容　（第 1 部）水質浄化ポスター入賞者、第 4 回ひぬまフォトコンテスト入賞者、水質浄化活動功労者の表彰式

（第 2 部）涸沼の環境をテーマとした基調講演

場　　所　いこいの村涸沼（鉾田市箕輪 3604）

※各事業の詳細は、事務局までお問い合わせください。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています

クリーンアップひぬまネットワークでは、イオングループが実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しております。このキャンペーンは、毎月 11 日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地元ボランティア団体など応援したい団体の投函 BOX へ入れると、お買い上げ金額合計の 1% が団体などに希望する品物で寄贈されるものです。

平成 21 年度は、ジャスコ水戸内原店及びジャスコ笠間店から以下の活動物品を贈呈いただき、今年の「ひぬま流域クリーン作戦」（7 月 24 日実施）で活用させていただきました。

【ジャスコ水戸内原店】　作業用軍手（6,700 円相当）　　**【ジャスコ笠間店】**　作業用軍手（1,300 円相当）

読者プレゼントクイズ「ナンバーナイン」に挑戦

	5	3	1				9	
4		□	3	6			5	
7				2			3	
1				7				□
	7	6	4	□	1	9	2	
				3				6
	8			9				4
	1			8	4			7
	2	□			5	3	8	

タテ（9列）・ヨコ（9行）・マス（9枡）に1から9の数字がそれぞれ入ります。

4つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

応募いただいた正解者の中から抽選で10名の方に図書カード（1,000円分）をプレゼントします。皆さん是非挑戦してみてください。

【応募方法】

官製はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号」をご記入のうえ、下記の事務局までお送りください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 平成22年10月29日（金）の消印有効です。

発　行：クリーンアップひぬまネットワーク
〒310-8555　水戸市笠原町978-6　県環境対策課内
電話：029-301-2968／FAX：029-301-2969
ホームページhttp://www.hinuma-network.jp

Q3.「親沢の一つ松」の句を詠んだ人は？　　A3. 徳川光圀（水戸黄門）です。

クリーンアップひぬまネットワークだより
～恵み豊かで美しい涸沼の創造を目指して～
第22号
平成二十二年九月発行
クリーンアップひぬまネットワーク事務局
茨城県生活環境部環境対策課内
TEL 029(301)2968　FAX 029(301)2969
http://www.hinuma-network.jp